

神高SSH通信

今回のSSH通信では、第12号で紹介した第3回サイエンスフェア in 兵庫の報告を行います。また、2月18日に行われる神戸高校の2年生の課題研究発表会にもついて紹介します。

第3回サイエンスフェア in 兵庫 報告

★日時：2月6日（日）

★場所：神戸国際展示場2号館

★報告：本年度は総勢119班、815人の人々が参加し、高校生世代の科学技術分野における研究活動の成果発表の場として、また企業や大学、研究機関の専門家との交流の場として開催できました。ご参加いただいた皆様まことにありがとうございます。また、参加されなかった方々は是非来年度ご参加ください。

★生徒の感想（アンケートより抜粋） 一部ですが以下に紹介していきます。

◎本年度のポスター発表者

- 去年と異なり、準備や練習で手いっぱい、他の高校の発表を聞きに行けなかった。とても緊張したが、質問にはちゃんと答えることができた。しかし、企業のポスターセッションを聞いて、もっと聞き手を意識した発表をしなければならないと気付いた。2月18日の最終発表ではもっと改善して良い発表が出来るように頑張りたい。
- 緊張したが、とてもいい経験になりました。普段見られないような企業の方々の展示も見ることができて勉強になりました。企業の展示は時間がなくて興味のあるところしか行けなかったのが少し残念でした。

◎見学者

- 僕たちも2年生になれば研究を行い、いずれは今日のような会場で発表する時がやってくると思うので、今日高校生の発表を聞いて、どういったことをしていくのが分かるきっかけとなりました。企業の方々も僕たちが分かりやすいように説明してくださって、知識を深めるきっかけとなりました。



発表者

- ★ケータイで見る緊急時連絡システムの構築と運用実践
生徒4名
- ★Excel VBAで口蹄疫に挑む！
生徒5名
- ★兵庫県に生息するメダカは均一な集団か？
生徒7名
- ★高高度発光現象スプライトの発生高度に関する研究
生徒5名
- ★兵庫「咲いてク」プログラム タンポポ合同実験実習会 報告
生徒6名



当日の様子

神戸高校 SSH 課題研究発表会

★日時：2月18日（金）12:40 ～ 16:20

★場所：神戸高等学校 講堂

★参加：総合理学科生徒 2-8（発表者） 1-8（見学）

★目的：

- I. 課題研究の成果を発表し、指導・助言を頂く機会とする。
- II. 発表する力、質問する力、議論する力、交流する力の育成を図る。
- III. 2年生の成果を1年生に伝え、学習活動の一層充実を図る。

本校生徒は昼休みに、すべてのポスターを見ることが出来ます。発表生徒による説明を聞き、質問も出来ます。是非、昼休みは講堂へ！！

★課題研究（発表生徒数）＊積極的な質問をお願いします！

- ① 兵庫県に生息するメダカは均一な集団か？（生徒7名）
- ② 糖から生成された褐色物質について ～グルコース燃料電池の燃料液～（生徒4名）
- ③ 兵庫県産ノジギクの地域間変異に関する総合的研究（生徒6名）
- ④ 消波の研究 ～障害物の形状によって消波効果は変化するのか～（生徒4名）
- ⑤ ケータイで見る緊急連絡システムの構築と運用実践（生徒4名）
- ⑥ Excel VBA で口蹄疫に挑む！ ～殺処分は本当に正しかったのか～（生徒5名）
- ⑦ 四国沖の海底で何が起きていますか ～付加体のアナログ実験～（生徒4名）
- ⑧ 金属の性質 … 立体周期表からみえたこと（生徒5名）



昨年度の様子

新素粒子探索 無料講習

★日時：3月12日（土）10:30 ～ 16:30

参加希望生徒は総合理学部先生まで。

★場所：神戸市立青少年科学館 本館4階 パソコン室

★対象：高校生、科学系クラブの学生、高等学校の先生、大学生、一般

★定員：20名

★概要：高エネルギー加速器研究機構では粒子と反粒子の物理法則の違いを調べるためのBファクトリー実験が行われ、その違いを説明する小林益川理論を検証し、小林誠氏と益川敏英氏が2008年のノーベル物理学賞を受賞するのに貢献しました。この実験ではその他にも新粒子の発見などの成果を上げています。このB-Labプログラムは、実験で収集されたデータの一部をインターネットを通じて主に高校の科学系クラブなどに公開し、B-Labに参加すると誰でもこのデータを使って「新素粒子探索」にチャレンジできます。

今回はこのB-Labに参加する高校生を募集しています。個人でも、グループでも、クラブでも、誰でも参加できます。新素粒子発見のために必要なものは、パソコンとインターネットだけ。学校や自分の部屋から世界中の専門家も利用している世界初の試みに参加して新しい素粒子を発見してみませんか？